



波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター

〒213-0033 川崎市高津区下作延5-11-8

E-mail support0731@luck.ocn.ne.jp

URL <http://www.kks-support.sakura.ne.jp/>



いきいきとした川崎の教育をめざして

8月25日(金)午後2時から、第3回研究協議会が川崎市教育会館で開催されました。ちょうどこの日は、夏休みが終わり、多くの学校の登校が再開される日でした。子どもたちは元気で過ごしていただろうかと心配しながら、研究協議会が始まりました。

今回の研究協議会は、スタッフが持ち寄った事例を岡田先生から助言をいただくことが大きな目的でした。岡田先生からは、子どもの声から事例を掘り起こしていくときに、「子どもが変わった、成長したと思われる『変曲点』を深掘りして記述していくこと」、「①事例の提示②経過③ふりかえっての3つのポイントを記述する形式はこのまま生かす」、「文字数を少なくして、イラストを入れて読みやすく」、「見開き2ページで記述す



る」などのアドバイスをいただきました。

最後に、文部科学省の不登校の基本方針とサポートセンターの研究テーマの変遷を見ながら、川崎市で研究した「いきいきとした川崎の教育をめざして」の報告書(昭和61年11月発行)を読んだ方が良いと岡田先生からアドバイスをいただきました。この冊子の中には、子どもたちがいきいきとするように、「子どもの声に耳を傾けて聴こう」「子どもの自立をうながそう」「子どものふれあいを育てよう」という項目が並んでいます。また、「いきいきとした学校をめざして」の項の中では「ひとりひとりの子どもを主人公に」「人間の尊さをうちたてる学校」などの言葉もあります。確かに、川崎の教育研究の柱がこの中にあるように思います。ちなみに、岡田先生は、この冊子をまとめた川崎市教育懇談会の副会長をされていました。



最後に、文部科学省の不登校の基本方針とサポートセンターの研究テーマの変遷を見ながら、川崎市で研究した「いきいきとした川崎の教育をめざして」の報告書(昭和61年11月発行)を読んだ方が良いと岡田先生からアドバイスをいただきました。この冊子の中には、子どもたちがいきいきとするように、「子どもの声に耳を傾けて聴こう」「子どもの自立をうながそう」「子どものふれあいを育てよう」という項目が並んでいます。また、「いきいきとした学校をめざして」の項の中では「ひとりひとりの子どもを主人公に」「人間の尊さをうちたてる学校」などの言葉もあります。確かに、川崎の教育研究の柱がこの中にあるように思います。ちなみに、岡田先生は、この冊子をまとめた川崎市教育懇談会の副会長をされていました。

高校生の訪問を受けました

8月末日、法政大学第二高等学校1年生、4人がサポートセンターに訪問してくれました。学校の自由研究で「不登校」のことを取り上げ、ネットでサポートセンターのことを知ったということです。後から、メールでこんな感想とお礼を寄せてくれました。「サポートセンターの設立の経緯や学習支援についてなどをとても詳しく、丁寧に教えてくださったおかげで、サポートセンターや子どもたちに向けた支援への理解が深まり、とても勉強になりました。私たち高校生が、様々な理由で学校に行けない子どもにできることは少ないと思います。しかし、サポートセンターで実際に働く方からお話を伺え、この貴重な機会を通して、私たちにできることを探して、積極的に実践していきたいと思いました。」と書かれていました



大山街道ふるさと館プロポーザルに向けて

9月14日(木)生涯学習プラザにおいて、令和6年度からの大山街道ふるさと館の指定管理に向けて、プロポーザルの準備を進めました。この日は、9月22日に行われるプレゼンテーションで使用するパワーポイントの内容を検討しました。

現在、私たちの他に2社ほど大山街道ふるさと館の指定管理に申し込みがあると聞いています。

私たちは、生涯学習財団と教育活動総合サポートセンターで運営した5年間の実績とこれからの5年間の夢を盛り込もうと真剣に討議しました。



不登校相談会・進路情報説明会



9月16日(土)
総合教育センター
で不登校相談会・
進路情報説明会が
開催されました。



150組、203名の方が参加しました。川
崎市内には、不登校で悩んでいる子ども
や保護者がたくさんいらっしゃることを

改めて認識しました。全体会では、民間のフリースペースである「フリースペ
ースえん」と「教育活動総合サポートセンター」が不登校児童生徒の取組を説
明しました。その後、不登校だった元子ども
や保護者を招いてのシンポジウムが行われま
した。最後に、各ブースに分かれて相談会が
行われました。教育活動総合サポートセンタ
ーのブースは、3か所設置され、17組の保護
者から相談がありました。



不登校シンポジウム

9月23日(土)13時30分より川崎
市教育会館において、不登校シンポジ
ウムが開催されました。保護者等一般
参加者35名、教育委員会・教職員36
名、学習支援サポーター35名などを含
め、全体で157名の参加者がありました



当日は、まず、教育相談センター荒谷指導主事から川崎市の不登校の現状と対
策について基調報告がありました。次に、6人のシンポジストによるシンポジウム
が行われました。参加者の感想をアンケートから少しですが紹介します。

●最初にびんずネットの金子さんの話からスタートした
のが大変良かったです。子どもの気持ち、保護者の気持ち
を聞いたら涙が出そうでした。また、コーディネーター、
子ども教育相談員、SSW、教育相談センター、NPOサポート
センターなど、様々な方から話を伺えたので、改めてそれ
ぞれの機関の役割等を理解することができました。



●不登校にかかわるそれぞれの専門の方が一堂に会してい
たのは素晴らしいです。ただ、中学校のコーディネーターの先生の話で、自分の学
校とは違うと感じられた保護者もいるのではないかと思います。できていない学校
は参考にしてほしいと思います

●シンポジストが6名おり、立場は様々でした。人数が多かったので全員の提案に
共感、賛同できない部分もありました。提案の中に「不登校を問題行動としない」
との考え方の浸透が進んでいないところがあるように感じました。それでも、個々
の困りごとに対応していこうと毎年取り組んでいただいている活動には感謝してお
ります。

10月の行事予定

1	日	
2	月	事務局打合せ⑦
3	火	学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま
4	水	研究部会⑦、日本語支援東小倉教室、学習支援幸・日吉教室
5	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
6	金	研究協議会③14時、学習支援幸・日吉教室
7	土	日本語支援幸町教室
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	学習支援川崎教室
11	水	日本語支援東小倉教室、学習支援幸・日吉教室
12	木	臨任研連絡協議会②、学習支援川崎教室、寺子屋上作延、情報交換会(南野川)
13	金	事務局会13時、学習支援幸・日吉教室、出前科学教室(西梶ヶ谷小)
14	土	支援を必要とする子の保護者の会(全市①)、寺子屋さぎぬま体験活動
15	日	
16	月	学習相談部会⑥、避難訓練(宮ノ下)
17	火	中原区保護者M④学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま
18	水	日本語支援東小倉教室、学習支援幸・日吉教室
19	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
20	金	学習支援幸・日吉教室
21	土	理事会②、日本語支援幸町教室
22	日	
23	月	会計担当者会②
24	火	学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま、出前科学教室(西梶ヶ谷小)
25	水	日本語支援東小倉教室、学習支援幸・日吉教室
26	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
27	金	学習支援幸・日吉教室
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	サポーター研修会①②、学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま